

適切な指導と 必要な支援のための

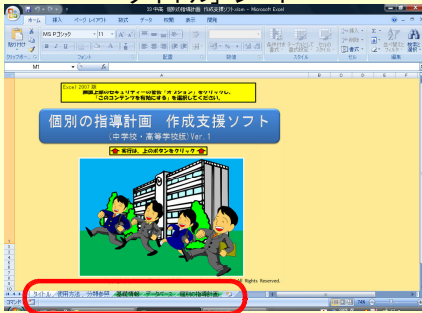
個別の指導計画 作成支援ソフト

(中学校・高等学校版) Ver.1

ソフトの内容

各シートの名前とはたらき

「タイトル」シート



シート名の書いてあるタブをクリックすると各シートに移ります

シート名	はたらき
1 タイトル	起動すると表示されるシートです。タイトルボタンを押すと「使用方法」シートに移ります
2 使用方法	使用方法を解説してあるシートです 適宜、参考にしてください
3 分類参照	生徒の様子を「データベース」でどのように分類したかを示したシートです 適宜、参考にしてください
4 基礎情報	生徒の様子やこれまでの対応を整理し、生徒の課題を焦点化するためのシートです
5 データベース	発達障がいのある生徒の様子から、生徒の抱えている背景を推測し、想定される支援方法をデータベース化したシートです 生徒の抱えている背景や支援方法を検討する際に、参考にしてください
6 個別の指導計画	「データベース」シートで選択したデータが転記されるシートです 生徒にあった具体的な支援方法を検討したり、個別の指導計画や記録等に活用したりしてください

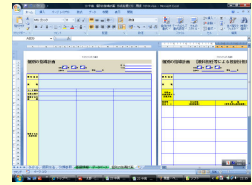
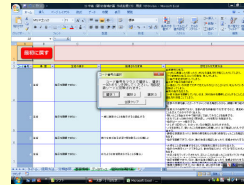
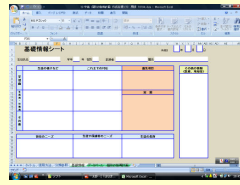
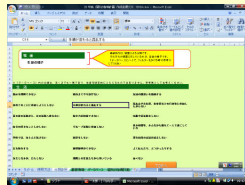
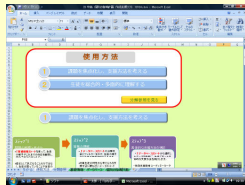
「使用方法」シート

「分類参照」シート

「基礎情報」シート

「データベース」シート

「個別の指導計画」シート



「個別の指導計画 作成支援ソフト」 Ver 1 はじめにお読みください

本ソフトは、Microsoft Office Excel 2007を使用して作成しています。Excelに関するシステムやサポート等の情報は、Microsoft社にお問い合わせください。

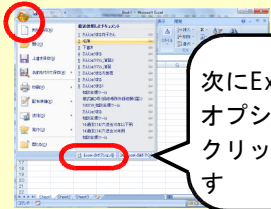


はじめにExcelのバージョンを確認してください。バージョンによって操作が異なります。本ソフトの性能を最大限に発揮するためには、Excel2007の使用を推奨します。

バージョンを確認します

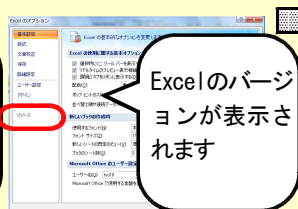
「エクセル」を起動してください
バージョンにより次のいずれかの方法で確認できます

1 はじめに画面左上部のボタンをクリックします



次にExcelのオプションをクリックします

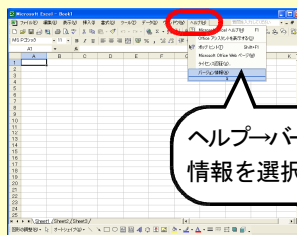
2 リソースをクリックします



Excelのバージョンが表示されます

2007の場合
P. 2へ

1



ヘルプバージョン情報を選択します

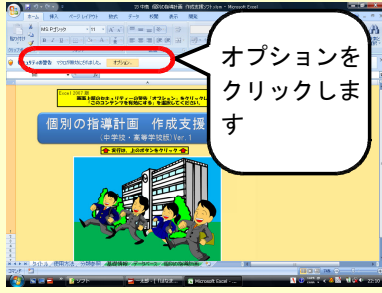
2002
2003の場合
P. 3へ

準備する

マクロを有効にする ※マクロを有効にしないとソフトが使用できません

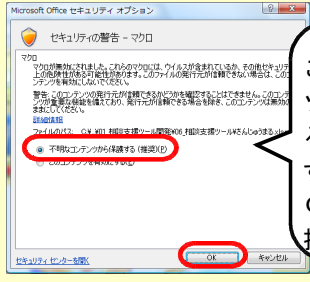
1
「個別の指導計画作成支援ソフト」を起動します
アイコンをダブルクリックします

2
セキュリティーの警告が表示されます



オプションをクリックします

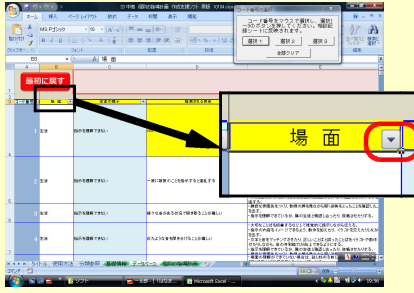
3
セキュリティーオプションのウィンドウが表示されます



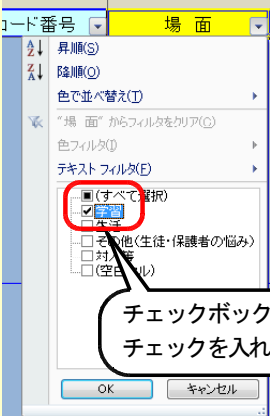
このコンテンツを有効にするを選択します
OKボタンを押します

「データベース」シートを操作する

1
三角のボタンをクリックします

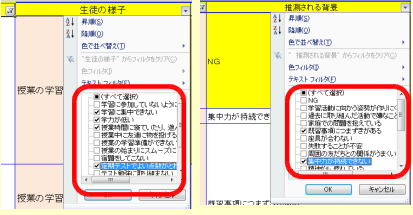


2
どの場面かデータを選択します

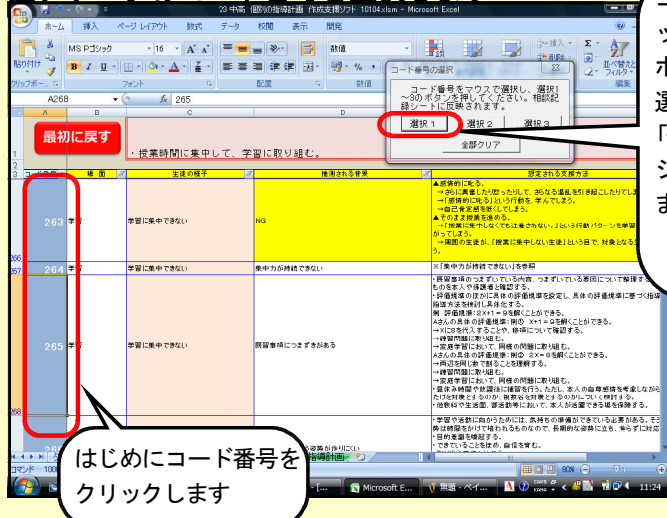


チェックボックスにチェックを入れます

3
2の作業を「生活場面」から「推測される背景」まで順に行います

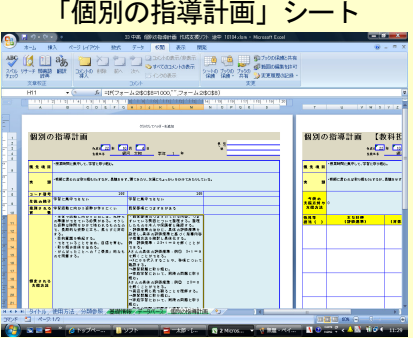


4
生徒の特性から考えられる支援方法に最も近いデータのコード番号を選択します



はじめにコード番号をクリックします

コード番号をクリックしてから選択ボタンを押します
選択したデータが「個別の指導計画」シートに転記されます



注意 本ソフトのデータの紛失・盗難・お取り扱い等には十分ご注意ください
本ソフトのデータの紛失・盗難・お取り扱い等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります

マクロを有効にする

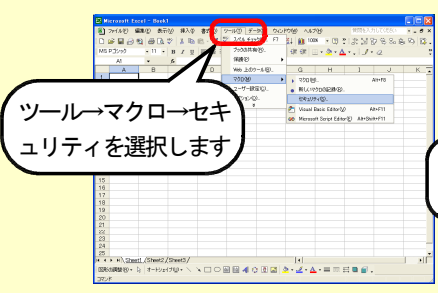
※マクロを有効にしないとソフトが使用できません

1

エクセルを起動し
ます

2

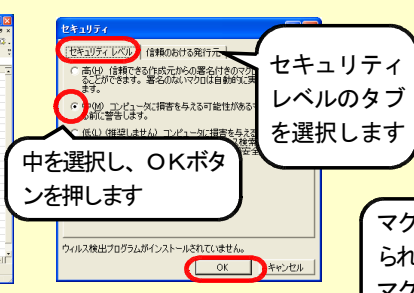
セキュリティーの警告
が表示されます



ツール→マクロ→セキュ
リティを選択します

3

セキュリティーのウイン
ドウが表示されます



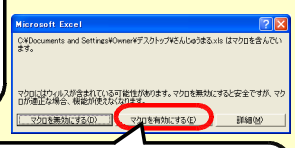
中を選択し、OKボタ
ンを押します

セキュリ
ティ
レベルのタブ
を選択します

4

「さんじゅうまる」を
起動します

アイコンをダブルクリッ
クします

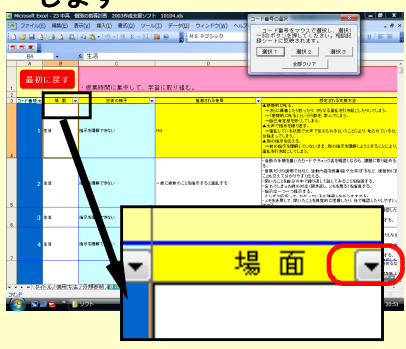


マクロを有効にするかどうか尋ね
られます
マクロを有効にするをクリックし
ます

「データベース」シートの操作

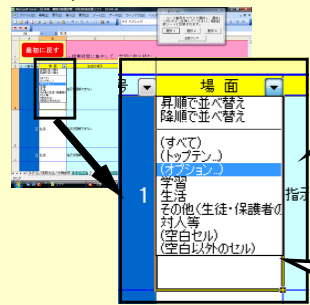
1

三角のボタンをクリッ
クします



2

どの場面かデータを選択し
ます
2002・2003では、選択できる
項目が1つか2つに限られて
います



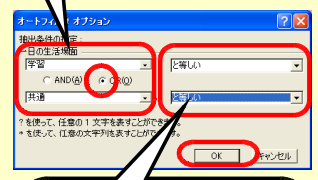
2つ選択する
ときは、オプ
ションをクリ
ックします

1つだけ選択
するときは、
その項目をク
リックします

3

2つ選択する場合の手順
オートフィルタオプション
が表示されます

三角のボタンをクリッ
クして
から選択したい項目をそれぞ
れ選びます
「OR」にチェックを入れます



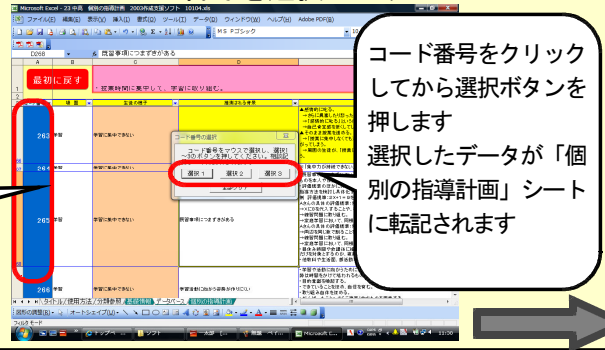
三角のボタンをクリッ
クして
から「と等しい」を選択します
OKボタンを押します

4

2～3の作業を「生活場面」
から「推測される背景」まで
順に行います

5

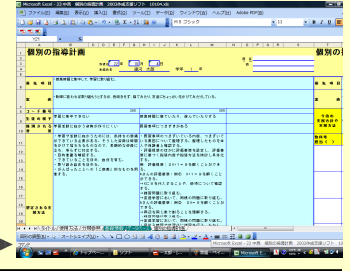
生徒の特性から考えられる支
援方法に最も近いデータの
コード番号を選択します



はじめにコード番号を
クリックします

コード番号をクリッ
クして
から選択ボタン
を押します
選択したデータが「個
別の指導計画」シート
に転記されます

「個別の指導計画」シート



注意 本ソフトのデータの紛失・盗難・お取り扱い等には十分ご注意ください
本ソフトのデータの紛失・盗難・お取り扱い等により、第三者に個人情報漏えいする恐れがあります

使ってみよう!

個別の指導計画 作成支援ソフト

(中学校・高等学校版) Ver.1

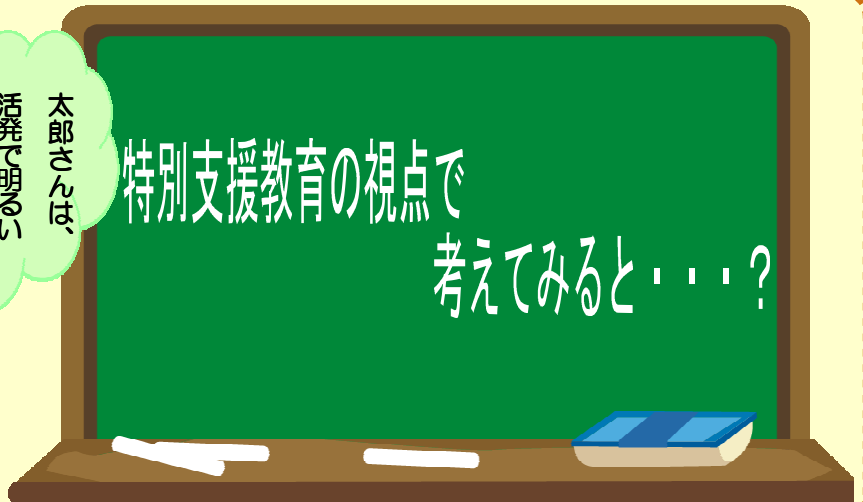
使用例

A先生の場合

授業を聞いていないようだし、宿題も…

太郎さんは、活発で明るいいい子なんだけど…

特別支援教育の視点で
考えてみると…?



Step 1

問題の整理と焦点化

「基礎情報」シートを使って、生徒の様子やこれまでの対応を整理し、優先項目を設定します。

取り組まなければならないことは、いろいろあるかもしれないけれど、まずは、授業に焦点をあてよう。



生徒の様子について、学習面、生活面・行動面、その他（家庭の様子等）、担任のニーズ、生徒や保護者のニーズ、生徒の長所等の観点から整理します。

A先生が入力した「基礎情報」シート

基礎情報シート													作成日	22年	10月	4日		
生徒氏名	銀河 太郎			学年	1年	性別	男	記録者	花巻 花子		関係	担任						
生徒の様子など	授業時間に、先週にちょっといざかける。やればできそうだけれども、やろうとしない。宿題も取り組もうとしない。定期テストでは、20点台。			これまでの対応			学習に集中していない様子が見られた場合は、注意をしていた。宿題を取り組まなかった場合は、部活動に行く前にやらせていた。			優先項目			授業時間に集中して、学習に取り組む。			その他の情報 (医療、地域等)		
学習面				特になし						教師に言われれば取り組もうとするが、長続きせず、寝てみたり、友達にちょっといざかけてみたりしている。								
生活面・行動面	人なつっこい性格で、クラスの中でも友達が多い。ただし、最近、授業を聞いている生徒のじゃまをするので、嫌われている生徒もいる。						籍一様のように声かけをした。											
その他	運動が得意であり、小学校や中学校でも、陸上競技や水泳の選手となっていた。																	
担任のニーズ	授業時間に集中して、学習に取り組んでほしい。			生徒や保護者のニーズ			【生徒】 ・「帰らない。」 【保護者】 ・高校には入ってほしい			生徒の長所			運動。					

生徒の様子から、緊急度や指導の難易度等の観点から、取り組む優先項目を決めます。

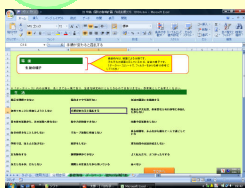
優先項目

「授業時間に集中して、学習に取り組む。」

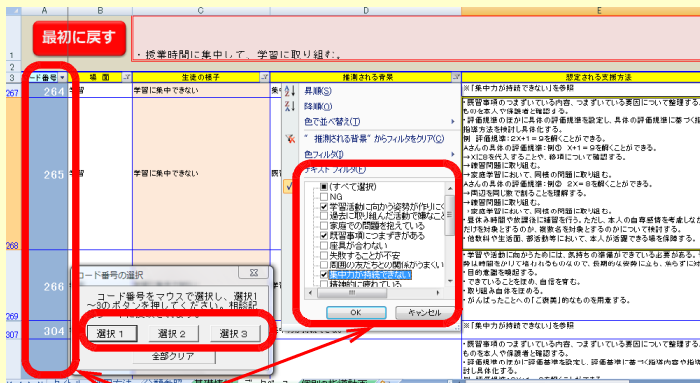
Step 2 背景の理解

「データベース」シートの分類項目にフィルターをかけ、生徒の様子から生徒の特性を絞り込みます。
支援方法の参考になりそうなデータのコード番号のセルを押してから、「選択1」～「選択3」のボタンを押します。

分類参照シートを参考にすると選択しやすい



「分類参照」シート



太郎さんの様子に近い項目を選択していくことにより、行動背景を「学習活動に向かう姿勢が作りにくい」、「活動が本人に合っていない」、「既習事項につまづきがある」のではないかと考えました（しを入れる）。

想定される支援方法の内容を見て、参考になりそうな2つのコード番号を選択しました。

Step 3 具体的な支援方法の検討

「データベース」シートで選択したデータが、「個別の指導計画」シートに転記されます。それをもとに、実際の指導場面や学校の現状に合わせた具体的な支援方法を検討します。

個別の指導計画

内年度	23	10	月	1	日
内学期	第2	学期	学年	1	年
失注	授業時間に集中して、学習に取り組む。				
実情	個別に言われれば取り組もうとするが、長続きせず、疲れてみたり、返事にもうなづかぬ様子がある。				
コード番号	264				
生徒の現状	学習に集中できない				
選定される支援方法	学習活動に向かう姿勢が作りにくい				
今後の支援方針や支援方法	<p>「今後の支援方針や支援方法」欄には、特別支援教育コーディネーター等と話し合いながら記録します。「目標、評価時期」欄には、優先項目についての具体的な目標や評価を記入します。「評価」欄には、取り組んだ結果についての評価を記入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太郎さんの得意なことを確認したり卒業後の目標を確認したりする。 ・目的意識をもつことを土台として、数学の授業を中心に、太郎さんの学習状況に即した学習内容に取り組む。 ・目標集中持続時間は15分間 				
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期末考査40点以上。 ・授業における集中持続時間15分間。 				
評価時期	12月4日				
評価					

個別の指導計画【教科担任等による役割分担用】

内年度	23	10	月	1	日
内学期	第2	学期	学年	1	年
失注	授業時間に集中して、学習に取り組む。				
実情	個別に言われれば取り組もうとするが、長続きせず、疲れてみたり、返事にもうなづかぬ様子がある。				
教科担任等による支援方法	担当	担当	担当	担当	担当
数学 (授業)	担当	担当	担当	担当	担当
国語 (読本)	担当	担当	担当	担当	担当
日常生活 (花巻)	担当	担当	担当	担当	担当
担当	<p>「個別の指導計画（教科担任等による役割分担用）」には、今後の支援方針や目標をもとにした、各教科担任や担任以外の方が生徒にかかわる場合の目標について記入します。</p>				

個別の指導計画

「個別の指導計画」シートをそのまま活用したり、学校等の実情に合わせて様式を変えたりするなどして、個別の指導計画として活用できます。

記録・資料

入力したデータを保存、印刷することにより、成長の記録や引き継ぎ資料、会議資料等として活用できます。